

当院で心臓再同期療法を受けられた患者さん・ご家族様へ研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2004年4月～2016年3月の間に、当院にて心臓再同期療法専用ペースメーカーの植込み手術をうけ、カテーテル検査で血行動態評価に基づいてその設定を最適化した方

【研究課題名】左室拡張能が心臓再同期療法の効果に及ぼす影響に関する検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心不全部 医長 神崎 秀明

【研究の意義・目的】

心不全治療のためにペースメーカー手術を行ったにも関わらず心機能が改善しない場合があります。本研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、その原因を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的にペースメーカー治療の有効率を高め、患者さん一人ひとりにあわせた最も効果的な心不全治療に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、心不全重症度分類、心電図、内服薬、採血検査（BNP、肝機能検査、腎機能検査、血算、電解質、CRP など）、心エコー検査結果、カテーテル検査結果

【研究期間】研究許可日より 2027年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心不全部 医長 神崎 秀明

電話 06-6170-1070